

本日の会議に先立ちあらかじめいただいたご意見について

団体	ご意見	コメント
富山大学	おもてなし事業と富山のブランド発信事業の中に、富山の寿司を入れていただき、世界にアピールして下さい。	地元主催夕食会などにおいて、富山の寿司をアピールできるよう検討してまいります。
	映像で教育サミットのことを記録されますが、子供達の取組や、子供達の頑張っている姿をぜひとも映像に入れて下さい。また、石川県と富山県の子供達で行う「こどもサミット宣言」のPRをお願いします。	記録映像には、関連事業やエクスカーション訪問先などでの子供たちの活動の様子を盛り込むほか、こどもサミットの宣言を積極的に紹介できるよう検討してまいります。
北陸経済連合会	とやま情報コーナー等において発信する情報として、北陸新幹線敦賀開業を意識した、北陸全体のPRを織り込んでいただきたい。	共同開催の石川県とも連携し、情報コーナーや在京海外メディアのプレスツアーなどにおいて、相互で北陸全体をPRできるよう検討してまいります。
県経営者協会	教育については、「日本の教育レベル低下」が一番の関心事・危惧である。日本の大学の国際的評価低下も同様。日本の教育関係者はもちろん、国民もそれを認識する機会にしてほしい。 「高等教育シンポジウム」などの行事があるが、これらはそれに役立つものなのか？ あるいは、今回の教育大臣会合は上記のようなことは念頭に置かず、お祭り行事として割り切って進めるなら、それはそれとして認める。	本県で開催される教育大臣会合が実り多いものとなるよう、開催支援に全力で取り組みます。また、県内高等教育の特色ある取組みの紹介を通じ高等教育機関が果たす役割について考える「高等教育シンポジウム」や「教育講演会」、「こどもサミット」などの関連事業の開催を通じ、教育について県民と一緒に考える機会にしてまいりたいと考えております。
経済同友会	機運醸成：メディア・SNSに限らず、授業での紹介や町内会回覧などで、学生や高齢者により分かりやすく自分事になる情報に触れる機会があると良い。 未来へつなげる取組み：子供同士での登校（横断歩道での大人の誘導）、自治体が公民館・科学博物館などで実施している講座（無料もある）など、日本の特徴的な活動を外国の方が見学している風景やコメントを収録し、期間中でもメディア・SNSなどで拡散して、富山の教育環境の良い点を県民に再認識してもらう機会とする。	ロゴマークやスローガンを活用し、LRTラッピングやバナーフラッグ、フラワーハンギングなどの街中装飾により開催機運の醸成を図ってまいります。また、会合前と会合後に県内の小学4年生から中学3年生への広報紙を発行するとともに、大臣会合や関連事業などをまとめた記録映像を作成し、本県の教育力の高さも含め県内外へ発信し、未来へつなげてまいります。
	ブランド発信事業：VR導入（自然、観光、食などのPR。天気が悪い場合も雄大な自然等を体験してもらうことができる）やエクスカーションの充実	本県のブランド発信については、映像なども活用しながら、エクスカーションや歓迎夕食会で多くの魅力に触れていただけるよう検討してまいります。
県商工会連合会	環境大臣会合の経験を活かして、おもてなしは参加者の心に残るものとなるようブラッシュアップされていると感じられる。 石川県との共同開催という特色を活かしながら、今回の会合開催が県民・市民にとって誇りに感じてもらい、関わった人たちも今回の体験を未来の活動につなげてもらうことを期待する。	両県の大学生によるロゴマークの作成や、両県の中高生が自分と社会のより良い未来について議論し宣言をまとめる「こどもサミット」など、両県の子どもたちに主体的に関わる機会の創出に努めているほか、おもてなしの面でも、両県の特色を活かした相乗効果を発揮し、これらの取組みを記録し、未来につなげてまいります。
生活衛生同業組合 ホテル・旅館	両県の大学生が考案したG7のロゴマークが、とてもステキで素晴らしいと思いました。	このロゴマークを、初の共同開催となった教育大臣会合のシンボルとして、両県で大いに活用してまいります。
	メイン事業の他、関連事業も盛りだくさんで、タイミング的にもコロナが収束に向かっている時であり、富山の活性化にはとても良い影響を与えたいと思います。がんばってください。	引き続き、県や市の関連事業、民間企業等による応援事業の開催などにより、開催機運の醸成に努めるとともに、国や石川県と連携し、教育大臣会合の開催支援に努めてまいります。
全日本空輸(株)富山支店	海外では日本の「食」への関心が非常に高く、その中でも「SUSHI」は最大のコンテンツです。国内では、寿司と言えば、富山が必ずトップで認知されているので、このG7という欧米の方へ「富山のすし」「富山湾鮭」の認知を高める絶好の機会だと思っておりますのであらゆるものを紹介することにはあるかと思いますが、すべての場面で「富山のすし」を紹介していくべきと思います。 エクスカーションも富山湾鮭の昼食、夕食会でも富山のすし職人によるその場での提供、など取り入れていく。日本 → 日本食 → すし → とやま を脳裏に焼き付けていただく。それによって、来富された欧米の皆さまが、各々富山のお鮭をSNS等で発信、拡散していただけるものと思います。	地元主催夕食会などにおいて、富山の寿司をアピールできるよう検討してまいります。また、海外メディアへの寿司のPRについても検討してまいります。

貴重なご意見をありがとうございました。